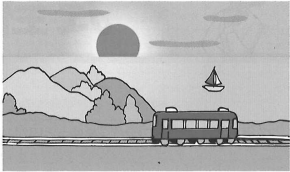
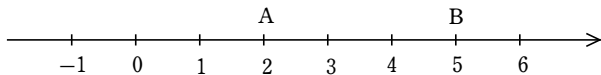


2つの数2と5において、大きい方から小さい方をひいた差は 3 です。



解説

▶ 下の数直線において、点 A の位置は2，点 B の位置は5 といえます。



数直線上の点の位置を表す数を **座標** といいます。
図の点 A，B は，それぞれ座標が2，5 です。
これらの点を A(2)， B(5) のように表すことがあります。

解説

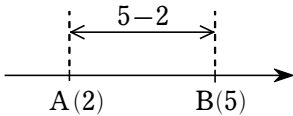
1 2点 A(2)，B(5) 間の距離は次のようになります。

$5 - 2 =$

3

点 B の座標

点 A の座標



解説

まとめ

数直線上の2点 A，B 間の距離 AB は，それぞれの座標を用いて次のように求められる。
 $AB = (\text{大きい方の座標}) - (\text{小さい方の座標})$

解説

← 2点 A(*a*)，B(*b*) 間の距離は，*a* と *b* の大小にかかわらず，絶対値を用いて，次のように表されます。
 $AB = |b - a|$

2 (2点間の距離) [教科書 p.48 例1]

(1) 2点 A (3), B (-2) 間の距離は

$$AB = \boxed{3} - \boxed{(-2)}$$
$$= \boxed{3} + \boxed{2} = \boxed{5}$$

← 大きい方は 3

(2) 2点 C (-4), D (-1) 間の距離は

$$CD = \boxed{-1} - \boxed{(-4)}$$
$$= \boxed{-1} + \boxed{4} = \boxed{3}$$

← 大きい方は $\boxed{-1}$

解説

3 次の2点間の距離を求めなさい。 [教科書 p.49 練習1]

(1) A (4), B (7)

$$AB = 7 - 4 = 3$$

(2) C (6), D (0)

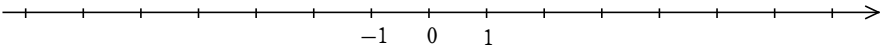
$$CD = 6 - 0 = 6$$

(3) E (-5), F (2)

$$EF = 2 - (-5) = 2 + 5 = 7$$

(4) G (-3), H (-6)

$$GH = -3 - (-6) = -3 + 6 = 3$$



解説

振り返り

① どのような内容を学習しましたか。

- 数直線上の2点 A, B 間の距離 AB

$$AB = (\boxed{\text{大きい}} \text{ 方の座標}) - (\text{小さい方の座標})$$

② 目標は達成できましたか。

できた まあまあ あまりできなかった

解説